

2023年6月分 東イン様 サステナブルレポート

6月の廃棄物処理状況をご報告します。

①マテリアルリサイクル（再生原料）	5 m ³
②サーマルリサイクル（RPF燃料）	72.5m ³ ※1
④リサイクル不可品（焼却処分）	3.5 m ³

6月の回収分もマテリアルおよびサーマルリサイクルを高比率で達成。
マテリアルリサイクルはタイルカーペット・石膏ボード・木くずが対象。
リサイクル不可品は袋物で細かい廃棄物が様々混合し分別不可な廃棄物となります。

※1 RPF燃料とはプラスチックや古紙を主原料とした高品位の固形燃料です。
RPFは石炭やコークス等の化石燃料の代替として、大手製紙会社・鉄鋼会社・石灰会社などの多くの産業で利用されます。
化石燃料使用削減によりCO2削減効果や、灰化率が石炭に比べ1/3以下と灰処理の負担も軽減。
石炭に比べ1/4～1/3という低価格な再生可能エネルギーとして有効活用されています。



株式会社フォーメーション 志賀 隆蔵 2023.8.17

廃棄物処理を通じ御社SDGs活動に貢献します。